



新明倫

鍛英親
鍊知愛

高鍋西中学校
学校だより
平成29年8月18日

「夏休み あっという間に過ぎていく」 「宿題が おわっていないよ 寒気する」

毎日うるさいくらいに感じる蝉の声もよく聞いてみると、夏の終わりにかけて鳴いている蝉の種類が変わり、吹いている風にも少しずつ季節の変化も感じられます。

長いと思っていた夏休みも残すところ約10日となりました。楽しかったことや頑張ったことなど、一人一人にとって心に残る夏休みにできているのでしょうか。毎日の学習（課題）も計画どおりに進んでいるのでしょうか。

8月28日（月）からの2学期の始業に向けて、身も心も頭も、全員がいいスタートをきれるように、残りの10日間を生活リズムを整えて有意義に過ごしましょう。

大切な命 自分を大切に 時間を大切に

今年の夏休みも、悲しいことに県内でも中学生が水の事故で亡くなっています。西中学校では、幸いなことに249名の生徒、一人も事件や事故などにあうこともなく、全員が安全に夏休みを過ごしています。これは、一人一人が学校や家庭、地域や社会の決まりやマナーをきちんと守り、基本的な生活習慣を大切にしているからです。また、PTA生徒指導部では夜間巡回指導などもしていただきました。本当に感謝しているところです。

左は、相田みつをさんの詩です。私たちが祖父母や親から受け継いできた命の大切さを再認識させられます。

9月や10月は多くの行事があり、学習にスポーツに大変忙しい日々が続きますが、夏の終わりや2学期のスタートにあたって、あらためて自分や他人の大切さについて考えたいものです。

父と母で二人	父と母で二人	自分の番いのち
父の両親で四人	父の両親で四人	
そのまた両親で八人	そのまた両親で八人	父と母で二人
こうしてかぞえてゆくと	こうしてかぞえてゆくと	
二十代前では二十四人	二十代前では二十四人	二十代前では二十四人
二十代前では二十四人	二十代前では二十四人	
なんと百万人をこすんです	なんと百万人をこすんです	なんと百万人をこすんです
い無量のバトンを受けついで	い無量のバトンを受けついで	
いまここに	いまここに	いまここに
自分の番を生きている	自分の番を生きている	
それがあなたのいのちで	それがあなたのいのちで	それがあなたのいのちで
それがわたしのいのちです	それがわたしのいのちです	
みつを	みつを	みつを

卒業生の声を聴く会を開催

8月2日（水）の登校日に本校体育館で、「卒業生の声を聴く会」を開催しました。今年度は4名（高校2年生）の先輩方から、各高校・学科の特色、進学した理由、現在頑張っていること、後輩へのアドバイスなどについてお話しをしていただきました。

4名とも西中学校在学時には、学習や生徒会活動、部活動などに常に目標をもって、時には失敗をしながらも、周りや協力しながら努力していたことなどを分かりやすく話していただきました。また、中学校時代の先生方や同級生、後輩たちへの感謝の気持ちを表していたことがとても印象的でした。

在校生にとっては、今後の学校生活や進路目標を考えるために、とても有意義なお話でした。4名の先輩方、本当にありがとうございました。



黒岩 慎也 くん	(高鍋高校)
平山 葉月 さん	(高鍋高校)
森田 萌水 さん	(宮崎大宮高校)
杉 羽玖美 さん	(宮崎学園高校)

「探せ つかめ 進め」中3生へ キャリア教育講演会

9日（水）に町内の中学3年生を対象に、町美術館ホールで講演会が行われ、延岡市出身の松田文志さん（五輪競泳メダリスト）が将来の夢に向かって努力することの大切さについてお話しをされました。

「人生は選択の連続で、その積み重ねが今の自分。自分と向き合い、何をやりたいか、何を頑張りたいか見つけてほしい。」「夢ができれば、実現している人に会いに行ってみてほしい。」「今を一生懸命に生きて、やりたいことを突き詰め、未来を築いてほしい。」と話されました。

進路選択をひかえた3年生にとって、自分を見つめ直して進路実現への意欲を高めるためにとても有意義な機会となりました。

